

ヒメウス (姫烏頭)

名前の意味：小さな烏頭の意味。烏頭はトリカブトの根のことで、漢方薬の原料になる。葉や根がトリカブトににている。姫という言葉は、にいて小さなものに付ける。

分類：双子葉類、キンポウゲ科、オダマキ属

(キンポウゲ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：フクジュソウ、クレマチス)

好きな場所：湿った林の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生じせい)

特徴：オダマキのよう白っぽい緑色の葉、白くて小さな花。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁りべん、5裂れつ

花の時期：5 - 6月

食べ方：食べられない。食べるとおなかをこわす

見分け方：ふつう見られる他のオダマキの仲間は、花がとても大きく、白くない。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

総合難易度そうごうなんいど ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)